

## 奈良桜井巡り

このたび縁があり、奈良三田会の恒例のイベントに飛び入り参加させて頂きました。桜井巡りにあたり奈良三田会の皆様から暖かく迎えていただき素晴らしい思い出を作る事ができました。当日（5/25（土））は晴天でしたが、例年にならない30度を越える暑さにもかかわらず参加者は総勢23人と盛会でした。平越会長の大学の同級生5人が飛び入り参加となりました。

若桜神社→安倍文殊院→谷首古墳→等彌神社とガイドブックでは決してお目にかかれない知る人ぞ知るコースでした。平越夫人（奈良まほろば検定 ソムリエ）の名ガイドにより奈良の古の世界が身近になりました。

安倍文殊院ではご朱印用の白衣を着て、方丈様の有り難い講話を伺い快慶作の国宝渡海文殊菩薩群像をじっくり拝むことができました。

谷首古墳は住宅街の一角の小さな森の中にあり、人一人がようやく潜れる穴から懐中電灯を手に入れることができました。被葬者は阿部氏の墳墓らしいが定かではないとのこと。玄室には蝙蝠が数匹住んでおり見学者の悲鳴が聞こえてきました。独りで玄室に入るにはよっぽど勇気がいります。

等彌神社は神武天皇の大嘗祭を施行したと伝わる由緒ある神社。佐藤春夫、堀口大学の友情の碑に慶應義塾の縁をつくづく感じました。佐藤宮司は我々を温かくお迎え下さり、ありがたい特別のご高話をいただきました。また特別参拝もさせて頂き、平越会長が代表で玉串奉奠をし、全員でお祓いを受けました。

安倍史跡公園で昼食をとりながら、各自自己紹介をしましたが皆様の話しを伺いながら改めて塾員の絆を強く感じました。会員のなかには奈良の魅力に誘われて自宅を奈良に構えた方もおられました。それだけ奈良は魅力あふれる古都なのだと実感しました。

当日は3時半頃解散となりましたが、大変な暑さにも係わらず皆様元気に予定のコースを踏破されました。

今回奈良三田会の会員の皆様を差し置いて、図らずも拙い文を寄稿させて頂き大変恐縮しております。塾員の一員ということでご容赦いただければ幸いです。

令和元年という記念すべき年に皆様と由緒ある史跡を巡ることができたことは、特別な縁を感じます。

最後に今回の幹事であります平越夫人の細やかなお気遣いに心から御礼申し上げます。

奈良三田会の皆様とまたいつかお会い出来ることを心から願っております。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

令和元年5月27日

昭和47年 法学部法律学科 卒

深澤 陽一郎